202402KeMCo

View Report

Campaign Preview　HTML Source　Plain-Text Email　Details

View this email in your browser

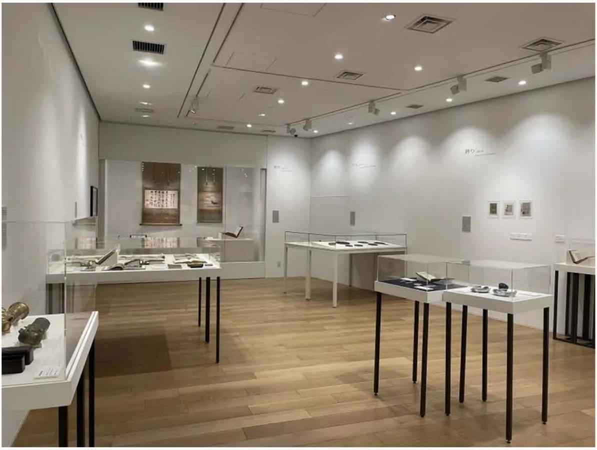
KeMCo

令和六年 一月十日
慶夢庫
KeMCo
赤インク スタンプ置き場
使用後はこちらに戻しください。
令和六年 月 日
慶夢庫
慶應義塾
独立自尊
黒インク スタンプ置き場
使用後はこちらに戻しください。

開催中の新春展2024「龍の翔（かけ）る空き地　唐様前夜：林羅山とそのコミュニティ」は2月9日（金）までです。
慶應義塾の龍にまつわる資料のほか、学生メンバー「KeMCoM」による「慶夢庫（けむこ）」御朱印等、参加企画もお楽しみいただける盛りだくさんな展覧会です。
爽やかな水色に、かっこよくもちょっとユニークな龍たちをあしらったバナーが目印です。今週土曜日には土曜特別開館も行います。ぜひお越しください。

KeMCoの近況

【2月9日まで】KeMCo新春展2024「龍の翔（かけ）る空き地　唐様前夜：林羅山とそのコミュニティ」



新たな年の挨拶にはどんな言葉やイメージを添えるでしょうか。お祝いの言葉、近況報告、親しい人の写真･･･「干支」も馴染み深いものです。
2024年の干支は「辰」（龍）。干支のうちで唯一の想像上の生き物です。龍は洋の東西を問わずいろいろな文物に表されてきました。自然を操る龍、秘境に潜む龍、守護する龍、あるいは戦う龍など、そのイメージはさまざまです。本展覧会では、新年の幕開けに、慶應義塾のキャンパスで文化財を巡る活動を行う部門から、「龍」にまつわる作品を集め、みなさまを個性豊かな龍の住処にご案内します。
日本の龍は中国から伝来したと考えられています。中国の文化はさまざまな時代に日本にもたらされ、独自の展開を遂げました。本展では特別企画として、江戸時代初期に新たな漢学・漢詩の担い手となった林羅山とその周辺の人々の書を展示し、文化を伝え展開させてゆく、今も昔も変わらぬ人々のコミュニティをご紹介します。

KeMCo新春展2024「龍の翔（かけ）る空き地　唐様前夜：林羅山とそのコミュニティ」

会期｜2024年1月10日（水）～ 2月9日（金）［土日休館］11：00～18：00
特別開館｜2月3日（土）
臨時休館｜2月5日（月）
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
入場｜無料、事前予約不要
主催｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ、慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫
協力｜慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾大学信濃町メディアセンター（北里記念医学図書館）、慶應義塾大学日吉メディアセンター、慶應義塾大学文学部古文書室、慶應義塾大学文学部美学美術史学専攻、慶應義塾福澤研究センター、慶應義塾大学三田メディアセンター、慶應義塾大学文学部民族学考古学専攻

2月3日（土）は土曜特別開館です

今週土曜日の2月3日に土曜特別開館日を行います.
平日はお仕事や学校のある方は、この機会にぜひお越しください。

KeMCo新春展2024「龍の翔（かけ）る空き地」

「慶應義塾中等部×KeMCo 物質循環ワークショップ」成果物を展示しています

KeMCoでは2023年9月12日（火）に、メディア・アーティストの三原聡一郎氏を講師にお迎えして「慶應義塾中等部×KeMCo 物質循環ワークショップ」を開催し、活動のひとつとして廃材を用いて筆の作成を行いました。
KeMCo新春展2024「龍の翔る空き地」の開催に併せて、作成した筆と習字作品を1階エントランスにて展示しております。

6月からは、三原聡一郎氏の個展も開催予定です。続報をお待ちください。

【次回展】「エフェメラ：印刷物と表現」

BLUE BALLS
サム フランシス "ブルー" 展
1961.5.15-27

フォートリエ展
11.21-12.5 1959
Feininger

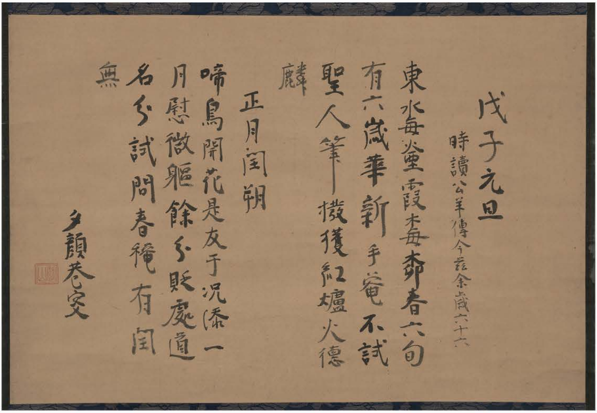
慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）では、多岐に渡る「エフェメラ」と呼ばれるアイテムの中から、ポスターやパンフレットなど展覧会やアート・イベントに合わせてつくられ、社会に広がるメディアとしての機能をもった印刷物エフェメラに焦点を当てた展覧会を開催します。特に、大学研究所のアーカイヴや図書館に所管された資料から、戦後美術において情報の伝達と実験的な表現の重なりが見られるアイテムをご紹介します。また、印刷物／エフェメラに関心を寄せる現代作家による二人展（河口龍夫・冨井大裕）も同時に開催いたします。

「エフェメラ：印刷物と表現」

会期｜2024年3月18日（月）–5月10日（金）［土日祝休館］11：00～18：00
特別開館｜3月30日（土）、4月20日（土）
臨時休館｜4月1日（月）、4月30日（火）–5月2日（木）
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
入場｜無料、事前予約不要
共催｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ、特定非営利活動法人 Japan Cultural Research Institute
協力｜慶應義塾大学アート・センター

エフェメラ：印刷物と表現

展示室より、推しモノ #25



林羅山筆元旦試毫、慶安元年（1648）、慶應義塾（センチュリー赤尾コレクション）

書き初めの習慣はいつ頃始まったのでしょうか。古く平安時代の宮中行事に由来するとも言われています。おめでたい文句や、年頭に当たっての決意を記すのが一般的なようですが、室町時代の禅宗寺院では「試筆」（しひつ）といって、漢詩を作って親しい人同士贈り合うのが恒例でした。子供の頃京都の建仁寺で学問修行した羅山にもその習慣が受け継がれていて、彼の詩集には、贈答の詩が大量に収められています。

ここに取り上げた作品は、たまたまこの慶安元年（1648）が閏正月のある年だったため、二回の元日にそれぞれ詠んだ詩があり、それを一枚の紙に揮毫したものです。詩の内容についてはカタログに解説を載せましたので、そちらを御覧頂くとして、ここではその筆跡・書風に注目していただきたいと思います。

どうでしょうか、なんとなく奇妙な雰囲気が感じられませんか？　それは、ほとんどの縦線がまっすぐではなく、どこかでくねっていたり、また太さも一定でなかったりして、不安定な印象を与えるためだと思います。右払いも、すっと抜くのではなく、ひょいと上の方向へ跳ね上げるようにしています。こういった筆遣いが独特のリズム感を生み出しているようです。実際に作品を目の前にして、自分の指をなぞるように動かしてみると、そのリズムが体感できると思います。

堀川 貴司（慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫 教授）

空き地

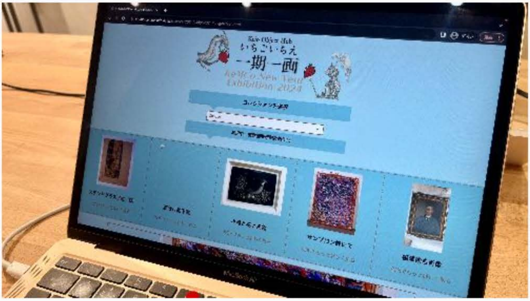
こんにちは、KeMCoMのHANAです！現在開催中の新春展2024「龍の翔る空き地」では、私たち学生スタッフKeMCoMによる企画もRoom2で展開しております。こちらでは、体験企画が盛りだくさんです。

まず、最初にご紹介するのは「空き地の御朱印2024」です！デザインは新春らしく御朱印風にし、スタンプ自体は8階のKeMCo StudI/Oにある3Dプリンターとレーザーカッターで自作しました。「慶夢庫」は今回新しく考えた「KeMCo」の当て字です。

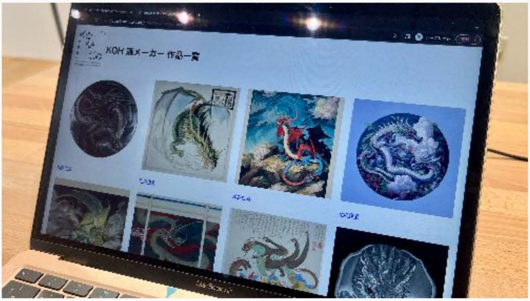
次にご紹介する2つは、「Keio Object Hub (KOH)」という慶應義塾が所蔵する文化財・学術資料のデジタルアーカイブサイトからデータを用いた、遊び心あふれる取り組みです。

「KOH 一期一画2024新春展ver.」は、気になるコレクション名を選ぶことで、KOHで公

開されている膨大な数の作品から5作品が表示されます。お気に入りの作品と出会うきっかけになれば幸いです。



「KOH 龍メーカー」は、KOHの作品をベースとして、AIが龍のイラストを生成します。迫力のある龍やダイナミックなドラゴン、また、人間の意表を突いた作品をAIが出力することも…！



そして、今年も登場しました「新春Instagramフィルター」！今回は、個性あふれる4種類をご用意しました。私も体験してみたのですが、まるで龍たちと戯れているようでとても楽しかったです。KeMCoMのInstagramアカウントで公開されていますので、ご自宅でもお楽しみいただけます！
こちらも恒例、「みんなの書き初め2024」！来場者の皆さまに書いていただいた書き初めを、Room2に投影しています。デジタルの取り組みだけでなく、御朱印スタンプもそうですが、こういった実際に手を動かす体験も楽しんでいただけてとても嬉しいです。
最後に、Room2を飛び出して、1階に展示されている中等部の生徒や教員陣による書にかざしてお楽しみいただける「書を彩る龍ARフィルター」もKeMCoM制作です、ぜひお試しください！

HANA（KeMCoM）

お知らせ

三田でご覧いただける展示

慶應義塾福澤研究センター新収資料展2024
1月10日（水）～**2月10日（土）**
会場｜福沢諭吉記念 慶應義塾史展示館

スペイン中世写本の楽しみー慶應義塾所蔵資料を中心にー
1月12日（金）～**2月8日（木）**
主催｜JSPS科研費22K00955 中世イベリア世界の多文化共生再考
協力｜三田メディアセンター展示委員会、慶應義塾図書館（三田メディアセンター）、慶應義塾日吉メディアセンター（日吉図書館）、東京外国語大学図書館
後援｜スペイン大使館、インスティトゥト・セルバンテス東京
会場｜慶應義塾図書館1階展示室

Published by KUAC ── 出版物でたどる慶應義塾大学アート・センターの30年
3月4日（月）～4月26日（金）
主催｜慶應義塾大学アート・センター
会場｜慶應義塾大学アート・スペース

WEBでご覧いただける展示

再現！番町の家 泉鏡花記念館 × Keio Exhibition RoomX
10月1日(日)～2024年3月31日(日) **（期間限定公開）**
URL｜https://kyoka.kemco.keio.ac.jp/#/
場所｜オンラインで開催します。上記URLよりお入りください。

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

次回の*KeMCo Voice*は*2024*年*3*月に配信予定です。
過去のニュースメールはこちら